

しらかば

第91号

令和5年
(2023年)
9月



北海道対がん協会ホームページ

公益財団法人 北海道対がん協会

北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15 Tel (011) 748-5511 Fax (011) 748-5512 <https://www.hokkaido-taigan.jp/>

北海道対がん協会 センター長 就任のご挨拶



北海道対がん協会センター長
釧路がん検診センター所長

松浦 邦彦

平素より関係各位におかれましては北海道対がん協会の事業につきましてご理解、ご支援を賜り心から御礼申し上げます。

さてこの度、当協会の3ヶ所の検診センター（札幌、旭川、釧路）を統括するセンター長に就任いたしました。浅学非才の身ではございますが、皆様のご協力、ご指導を賜りながら今後とも当協会の発展、検（健）診事業の推進に努力いたしますので宜しく願い申し上げます。

私は1960年（昭和35年）生まれ、今年で63才になりました。1985年に札幌医科大学を卒業した後、当時の第4内科学講座に入局して漆崎一朗先生、新津洋司郎先生にご指導、ご教授をいただきました。当協会に所属したのは1992年（平成4年）9月に新津先生のご高配をいただき、まずは教室の派遣医師として釧路がん検診センターに赴任したのが最初でした。その後、同年10月に学位を取得し、翌年1月には釧路がん検診センター副所長、1995年（平成7年）には、当時札幌がん検診センターと兼任されていた田村浩一先生の跡を継いで所長に就任いたしました。釧路は元々私の生地ですので土地勘に不自由はなく、霧が多くて湿気が不快な気候も特に問題ありませんでしたが、赴任した当初はがん検診事業については全く知識がなく、それまで大学病院や市中関連病院で培ってきた臨床経験

もなかなか役に立たないことに不安で一杯でした。しかし、田村浩一先生、有末太郎先生から胃バリウム検査の読影方法の基本やがん検診とはいかなるもので保険医療とはどう違うのかについて多くのご指導を受け、現在に至っております。

さて、今年6月30日から宮城県対がん協会がん検診センター所長の加藤勝章先生の会長のもと「集団のパラダイムシフト－効率的で効果的な消化器がん対策を目指して－」をテーマに第62回日本消化器がん検診学会総会が仙台市で開催されました。今回の総会で強調されていたのは、がん検診の受診率を諸外国並みに高くしてがん死亡率の更なる低下を目指すために、これまで様々な事情で区別されていた対策型と任意型のがん検診を統合し、さらに職域健診も含めて全国民が統一化されたプログラムによる組織型検診（organized screening）としてのがん検診を受けられるようにパラダイムシフトを行うべきであると言う提言でした。これまでの日本のがん検診システムは検査の種類や対象年齢など地方自治体によって様々なバリエーションがあっても柔軟に対応してきましたが、一方で検診方法、精度管理が全国で完全には統一されておらず、結果として諸外国に比較して検診受診率が低く、がん死亡率の低下が十分ではありませんでした。現状のシステムではがん検診の対象集団が明確ではなく、また個人が特定できる名簿がないため十分な受診勧奨ができないことが大きな理由と考えられます。しかし今後はマイナンバーカードの有効利用に伴って、組織型検診として年齢、性別、既往歴などからがん検診の対象者を明らかにし、さらに個人の検診受診歴、精密検査受診歴などの医療データが管理された上で、受診率を高める為に有効な手段（個人面談やコール・リコールなど）で受診勧奨が実施される時代も遠くないと考えます。がん検診に大きな変革が起きるかも知れませんが、当協会もこの時流に遅れることなく直実に歩み続けます。

今後ともご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

札幌がん検診センターを一部リニューアルしました！

当協会の札幌がん検診センターは、平成10年に現在の場所に新築移転しましたが、より多くの受診者の皆様に、快適な検（健）診環境を提供するため、令和5年5月に1～2階の施設の一部を改修する工事を行いました。



待合スペースを拡張し、今までよりも多くの方にお待ちいただけるスペースを確保しました。(1階)

心電図等の各種検査室を個室とし、プライバシーに配慮しています。(2階)



男性更衣室や胃部エックス線検査室をそれぞれ1階と2階に集約、今まで2階で行っていた身長体重測定・血圧測定・採血を行う検査室を診察室横に配置することで利便性を高めた他、1階には多目的更衣室を設置し、様々なニーズに対応できるようにいたしました。

リニューアルにより、より落ち着いた雰囲気の中で検（健）診を受けていただけるようになりましたので、多くの皆様のお越しをお待ちしております。



【全館フリー Wi-Fi環境を整備しました！】

今年度新採用職員です。よろしくお願いいたします。

札幌がん検診センター

課(科)	氏名	課(科)	氏名
巡回検診課	鈴木 将太	看護科	川端 香
巡回検診課	水野 美加	看護科	大下 美久
巡回検診課	井上 りか	画像技術科	今野 郁実
巡回検診課	長谷川 咲季	画像技術科	堀田 莉沙
施設検診課	中時 香保里	事業管理課	若森 久明
施設検診課	林 優華		

旭川がん検診センター

課(科)	氏名
検診第1課	森谷 美雪
検診第2課	大木 綾乃
看護科	吉田 茜
検査科	佐々木 琴音

釧路がん検診センター

課(科)	氏名
検診課	武藤 麻紀子
放射線科	森江 有香
検査科	酒井 はるか



令和5年度新採用職員18名です。
受診者の皆様が安心して検（健）診を受けることができるよう、各部門でがんばります！
よろしくお願いいたします。



2023年度がん征圧スローガン 優秀賞を受賞！

北海道対がん協会 旭川がん検診センター総務・施設課 主任保健師 小林あつみ さんの作品が、日本対がん協会2023年度がん征圧スローガンの優秀賞を受賞しました。北海道対がん協会では、今年度、小林さんの作品を積極的に活用していきます。

受賞
作品

～がん検診 未来のわたしへ 健康投資～

小林さんの
コメント

「初めて受診される方や受診をためらう方へのアピールになるスローガンにしたいと考え、将来のために健康を積み立てるイメージで『投資』という言葉を選びました。健康に対する意識がより高まるというなと思いました。検診を受けるのは面倒だし不安なこともあるかと思いますが、自分への投資という前向きなイメージを持っていただけると嬉しいです。」

がん征圧スローガンとは

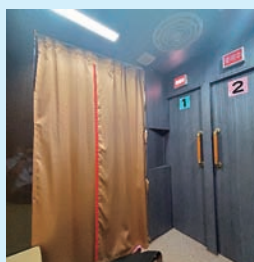
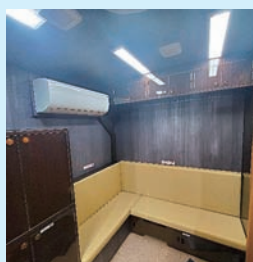
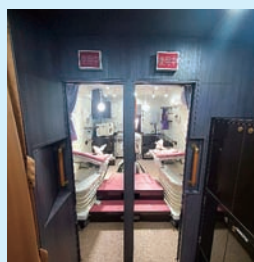
がん征圧スローガンは、4月からの1年間、ポスターやリーフレット等に標語を掲載してがん検診の受診呼びかけなどに使用しています。毎年度、全国から作品を募り、日本対がん協会内の選考委員会が選定しています。

子宮がん検診車 『しらゆり8号』導入

北海道対がん協会では、婦人科検診の充実のため、令和5年5月に新たに子宮がん検診車（しらゆり8号）を札幌がん検診センターに配置しました。

このたびの子宮がん検診車は、“快適な空間で受診していただく”をコンセプトとして、待合室はモダンなデザインに、また、診察スペースはプライバシーに配慮した作りに仕上げられています。

受診者の皆様が安心安全な環境で受診できるよう、これからも努めてまいります。



このしらゆり8号は、令和5年6月より稼働しています。当協会の婦人科検診は、道内138市町村を、3台の子宮がん検診車で巡回して検診を行っております。

がん征圧 シンボルキャラクター決定！

北海道対がん協会は、当協会の各種啓発活動に活用することを目的に、札幌市立大学学生の對馬和佳奈さん（デザイン学部4年）、北森あんさん（デザイン学部2年）の協力を得て、がん征圧シンボルキャラクターを制作しました。北海道らしいヒグマと各がんのシンボルカラーのリボンを組み合わせた親しみやすいキャラクターで、各種啓発グッズ等を作成中です。

各がんには啓発カラーがあり、国が推奨する5つのがん検診の部位（胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん）にも啓発カラーがありますので、この機会にぜひ覚えていただければと思います。

キャラクターは、商標登録を行っておりますので、自治体や各種団体のイベント等で活用をご希望の場合は、経営管理部企画課（011-748-5518）へお問い合わせください。



賛助会員名簿

(令和5年6月15日現在)

(敬称略)

ご 報 告

令和4年度（令和4年4月11日～令和5年4月10日）の賛助会費の収支決算は次のとおりです。
会員の皆様に厚くお礼を申し上げ、ご報告いたします。
なお、名簿には令和5年度の新規会員も含まれます。

収 入 の 部

個人会員	255件	457,667円
法人会員	97件	1,240,000円
計		1,697,667円

支 出 の 部

通信運搬費	資料等の郵送料	359,000円
印刷製本費	普及啓発用パンフレット等の印刷費	1,338,667円
計		1,697,667円

個人会員の部

	山崎留美	中川昌代	旭川市	藤井哲哉	舟見美登里
	吉田晃暢	樋口智美	山上良子	藤本みゆき	千歳市
札幌市中央区	齋藤芳子	前田好徳	横堀良男	細川肇	佐藤正博
浅川聡子	齋藤陽一	前田敦子	浅香伸一	前田莉恵	富良野市
東惠子	斉藤敏男	南聡一	石川良美	前畑侑加	山田一雄
大上婦美子	佐竹啓一	山室吉博	石山好人	松谷和江	伊達市
小田寿	佐藤トキエ	札幌市厚別区	石坂結夏	村上奈緒	東愛子
加藤元嗣	庄司淑子	安住香代子	板谷小夜里	山崎知文	平口浩造
木田達子	白井祐一	佐々木稔	岩崎敏博	山本誉也	北広島市
澤田昌宏	春原良江	柴田弘子	笠茂光範	山内優佳	木原真結
鈴木篤子	多田洋子	土田雅恵	加藤智子	渡邊知市	石狩市
鈴木信一	藤間登代子	新田康子	木村まなみ	釧路市	三浦信悦
竹江スミエ	西嶋和恵	宮城直子	熊林弘美	浅井正子	新篠津村
津田桃子	根元明美	本吉和紀	倉兼俊之	小野寺理江	高村範子
藤田秋見	馬場真志	札幌市手稲区	黒蕨真一	大石耕治	乙部町
藤原美樹	平盛範昭	遠藤智仙	合田亜希	北田雅嗣	生田晃吉
嶺野幸子	牧野洋子	大中房江	小沼真澄	木村義和	森町
目曲一雄	毛利拓哉	木村圭子	小林あつみ	佐藤恵美子	梶谷和子
柳瀬敏子	渡部英昭	今野信代	今野浩明	新堀正	古平町
山本仁史	札幌市東区	瀬野尾瞳	齊藤九文	瀬戸昭典	工藤誓子
横山愷	安達督	高井収	坂田裕美	田中稔	栗山町
札幌市北区	浦洋子	高井瑞枝	酒井歩夏	廣島吉雄	坂上由美子
阿部裕	川橋貴大	深澤美知代	佐々木弘之	松葉憲二	東神楽町
阿部栄子	久保彩香	細越信子	佐藤和美	山本終一	新関おりえ
五十嵐秀子	小西加奈子	三崎陽子	推名安之	林田治美	上川町
猪股順子	小林博子	渡辺正嘉	菅原則子	北見市	木村美江子
猪股正行	小松薫	中義雄	相馬尚実	村井昌裕	沼田町
岩崎義之	佐藤文俊	札幌市清田区	田村阿伊子	江別市	石川恵美
宇内光枝	佐藤芳子	阿部春郎	中村恵子	石田浩一	遠軽町
大川麻美	白井典子	奥木紘二	中山仁	梅津敏敬	岳上智
大向博子	高木祐子	羽賀俊夫	西川恒彦	木下邦磨	更別村
長内瑠美子	高山裕行	半田信子	西澤光子	鈴木康雄	宿田成宏
窪田明代	傳法公磨	南出博子	西田大	柳谷光弘	白糠町
小鍛冶実恵子	藤堂勢津子	吉村千鶴子	野村好紀	山口孝代	岡部美佐夫
小島良子	林恵美子	小樽市	原隼	紋別市	平野温子
九石和恵	張山朋恵	斎藤京子	平森裕樹	竹澤康裕	山吉文子
小林美枝子	藤川甫				

市町村会員の部

赤井川村
厚岸町
安平町
置戸町
標茶町
天塩町
弟子屈町
北竜町
余市町
羅臼町
蘭越町
留寿都村

公益財団法人 北海道結核予防会
株式会社 札幌白衣
札幌臨床検査センター 株式会社
三機工業 株式会社
山藤三陽印刷 株式会社
サントリービレッジソリューション 株式会社
株式会社 常光
株式会社 スズケン
大丸 株式会社
つうけんビジネス 株式会社
株式会社 ティ・アイ・エス
デンソーテクノ 株式会社
なかせき商事 株式会社 札幌営業所
株式会社 日榮舎
株式会社 日立ビルシステム 北海道支社
ベル通信工業 株式会社
株式会社 ベルックス
株式会社 ほくやく
株式会社 北洋銀行
北海ケミー 株式会社
堀井薬品工業 株式会社
一般社団法人 北海道医師会
北海道エネルギー 株式会社
北海道ココラボトリング 株式会社
株式会社 北海道新聞社
北海道日野自動車 株式会社
一般社団法人 北海道薬剤師会
一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会
株式会社 北基サービス

前田タイヤ 株式会社
有限会社 丸や山口商店
三浦印刷 株式会社
石狩市
株式会社 リプロワーク
美唄市
医療法人社団 井門内科医院
北広島市
社会福祉法人 北海道リハビリ
旭川市
株式会社 あいわプリント
旭川トヨタ自動車 株式会社 末広支店
旭川レディースクリニック
株式会社 旭川環境リサイクル
有限会社 入江タイヤサービス
環境衛生工業 株式会社
協同車輛整備工業 有限会社
北海道ココラボトリング株式会社 旭川事業所
澤井石油商事 株式会社 旭川支店
旭川市市民生活部市民活動課内
株式会社 第一岸本臨床検査センター 旭川営業所
有限会社 旭川ティービーエム
医療法人 東光マタニティクリニック
株式会社 ドーホク
日興自動車工業 株式会社
株式会社 ノヴェロ旭川支社
北海道日野自動車 株式会社 旭川支店
株式会社 富貴堂ユーザック
株式会社 ホンダカーズ旭川 末広店

釧路市
阿寒歯科診療所 大澤正幸
医療法人社団 サンライズ杉元内科医院
一般社団法人 釧路歯科医師会
株式会社 セントラルビルサービス
株式会社 近藤設備工業
株式会社 松井建設
丸井産業 株式会社
釧路総合印刷 株式会社
千代田電装工業 株式会社
大栄商事 株式会社
中央防災システム 株式会社
東テク北海道 株式会社
東北海道日野自動車 株式会社 釧路支店
藤田印刷 株式会社
有限会社 クリーニングいまい
有限会社 大沢タイヤ商会
高橋電気保安事務所
帯広市
株式会社 帯広臨床検査センター
太田電機 株式会社
大同出版紙業 株式会社
北斗市
八潮運輸 株式会社
東京都
サンブラニングシステムズ
保険情報サービス 株式会社
千葉市
公益情報システム 株式会社

法人会員の部

札幌市

アイ・ティ・エンジニアリング
株式会社 朝日新聞社 北海道支社
出光テール販売株式会社 北海道カンパニー
伊藤組土建株式会社
有限会社 医用センターフクヤ
株式会社 北海道医療新聞社
株式会社 ATM保険事務所
カイゲンファーマ 株式会社
有限会社 クイックドライブさはら
株式会社 恵和ビジネス



北海道がん対策基金からのお知らせ

募金状況

令和5年6月末現在の累計額

42,248,249円

引き続き、皆さまのご協力をお願いいたします。

令和6年度の助成事業を募集します

北海道がん対策推進条例及び北海道がん対策推進計画に貢献し、北海道におけるがん対策のより一層の向上に繋がる事業に対し助成いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

詳細はこちら→



お問い合わせ 【事務局】

○北海道保健福祉部健康安全局
地域保健課がん対策係 TEL (011) 204-5117
○公益財団法人北海道対がん協会
経営管理部企画課 TEL (011) 748-5518

助成対象

北海道内に活動拠点を置き、道内を中心に活動している団体（令和6年度に実施するもの）

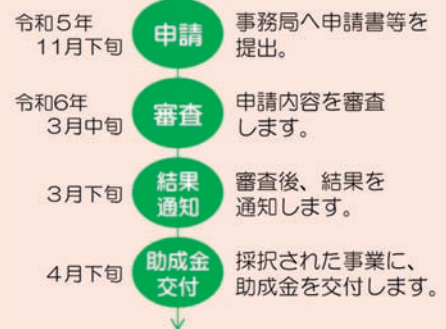
助成金額

1団体あたり最大50万円

募集期間(予定)

令和5年9月1日(金)～令和5年11月30日(木)

交付までの流れ



2023年度 リボンの願い事業

北海道対がん協会は、2010年に、北海道コカ・コーラボトリング株式会社と「ピンクリボン運動の推進に関する協定」を締結し、「ピンクリボン活動支援自動販売機」設置先様のご協力のもと、売上金の一部を北海道対がん協会へ寄付していただく仕組みを作っています。協定の締結から13年が経ち、支援自動販売機は全道に約150台、2022年までの累計寄付金額は2千万円を突破しました。

この寄付金を活用した事業として、2016年から「コカ・コーラ工場見学×乳がん検診バスツアー」を企画し、好評を得ています。コロナ下の2020～2022年は残念ながら中止としましたが、今年は12月5日（火）に実施いたします。満40歳以上で乳がん検診を受けたことのない方、もしくは、前回受診から3年以上乳がん検診を受けていない方を対象とし、午前中に北海道コカ・コーラ(株)の工場見学と乳がんのミニ講話、午後から北海道対がん協会でも乳がん検診を受けていただきます。

10月25日（水）まで当協会ホームページで応募を受け付けていますので、対象となる方はぜひご応募ください。



第53回がん予防道民大会 in 稚内を開催します!

がん予防道民大会は、道民へのがんに関する正しい知識の普及啓発を目的として、北海道・開催市町村・公益財団法人北海道健康づくり財団・公益財団法人北海道対がん協会の4者共催により開催しています。今年は稚内市で開催し、オンライン配信もいたしますので、より多くの道民の皆様のご参加をお待ちしております。



日時 令和5年10月20日(金)

場所 稚内総合文化センター
(稚内市中央3丁目13番23号)

オンラインを併用して開催します!

特別講演

「肺がんで困らなくなる日を目指して」
～北海道から進行肺がんを無くそう!～

KKR札幌医療センター 病院長
磯部 宏 氏



健康講話

「がんと共に生きる」
～医療現場の取材から見えた大切なこと～

医療キャスター／ジャーナリスト
松本 裕子 氏



申込方法 ※会場参加とオンライン参加によって申込先が異なりますので、ご注意ください。

- ・会場参加の場合
電話(0162-23-4000)またはファックスで申込みください。
- ・オンライン参加の場合
WEB申込みのみです。申込みいただいたメールアドレスに、後日、閲覧用URLを送信します。
- ・申込期限
令和5年10月13日(金)

詳しくは特設サイトを
ご覧ください!

特設サイトはこちらから→

